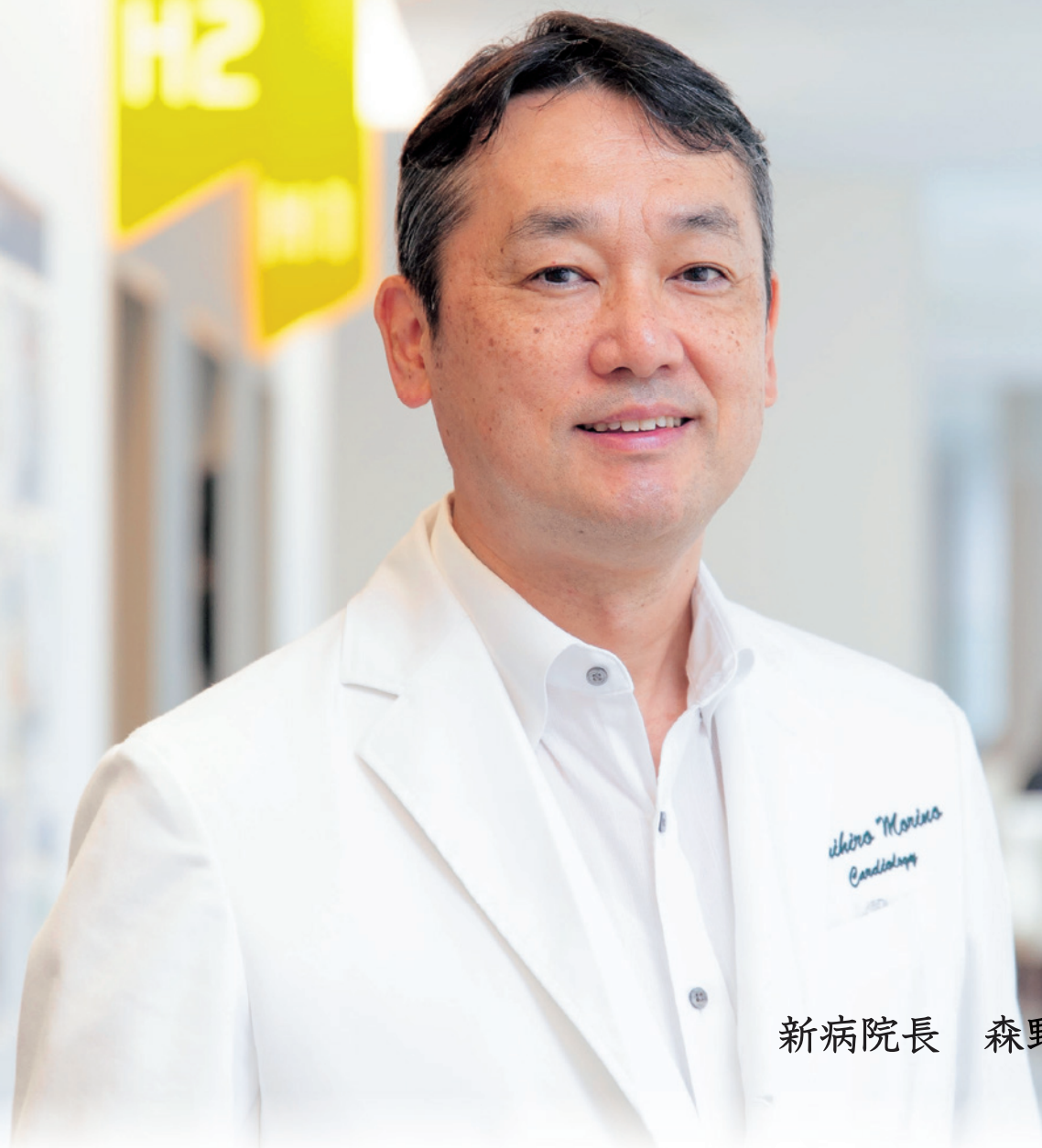




新病院長 森野 禎浩

Iwate Medical University Hospital News

地域医療連携だより

2024年8月号



岩手医科大学附属病院



内丸メディカルセンター

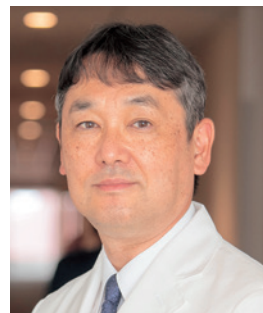
人 ご挨拶

附属病院長就任のご挨拶

医学部 循環器内科学講座 教授

森野 禎浩

Iwate Medical University



小笠原邦昭先生の学長就任に伴い、8月より岩手医科大学附属病院病院長を引き継ぐことになりました、森野禎浩（よしひろ）と申します。新設講座の循環器内科の教授として着任し約13年経過し、56歳ですが現役教授の中では、在任歴が最も長い部類に入りました。循環器内科の診療や研究の強化に尽力してきましたが、副院長として7年強、とくに患者サポートセンター長や保険診療委員長など、各医療機関の皆様との関わりの深い部署を担当して参りました。

2019年の附属病院矢巾移転は、盛岡医療圏の病診・病病連携に大きな影響を与えました。旧病院から距離で10キロ、自家用車で30分、JRで3駅、今のところ公共交通システムも期待したほどに発達せず、入院や特殊検査を必要とする患者さんから交通の不便さを訴えられます。移転による外来診療の混乱については、内丸に集中することで最小化に努めてきたつもりですが、診療科毎の微妙な違い、2病院態勢の煩雑さやわかりにくさ、効率性の課題などは、多くの改善を必要としています。こうした努力を継続していく所存ですが、本質的には、大学病院でしかできない高度な医療、新規医療、治験、人手のかかる救急医療などの提供にフォーカスし、患者さんが「多少遠くてもかかりたい」、クリニックや病院の医療者が「大切な患者様を預けたい」病院を目指すことだと思います。

岩手県や隣県では、人口減と医師の充足率から、病院の機能分化を促進せざるを得ないと思います。一般医療を各地域病院にお願いし、大学病院は役割に特化

し、分業をさらに進め、お互いに繁栄できるwin-winパートナーシップを構築する、これこそが新病院長の大きなミッションだと考えています。すでに矢巾病院は分割していた循環器系とジェネラルICUを統合し、重症患者治療をスケールアップさせる途上にあります。救急の初療をさらに大学病院で担い、下り搬送の仕組みを活用することで、地域救急病院の時間外の負担を軽減できないか、と考えます。さらに、癌などの手術の待機時間の短縮、化学療法の入院拡充、内丸メディカルセンターの有機的な活用など、我々の課題も明瞭です。

岩手県の大半の医療機関で経営が悪化しています。人口減だけではこの規模の減収を説明できません。医療経済はやはり生きていて、デフレスパイラルの真ただ中にいる最大の要因は、コロナに暴露した4年間に「patient journey」が冷え込み、そのまま回復しないことでしょう。岩手県における過去の医療が、我が国の平均より過剰であったとは思えませんので、現状が適正ではないでしょう。今こそ、治療が必要な潜在的な患者さんの紹介・逆紹介を意識的に強化し、患者さんの「循環」を進め、この負の連鎖を自力で断ち切らねばなりません。そして、一体となって効果的に患者さんへ最適な医療を提供し続けるために、新しい医療連携を模索して参りましょう。

これから積極的に様々な施策を取り組んで参る所存ですので、どうか皆様の温かいご理解とご支援を賜れますと幸いです。宜しく願い申し上げます。

新任教授のご紹介

臨床遺伝科教授就任のご挨拶

医学部 臨床遺伝学科 教授

鈴森 伸宏

Iwate Medical University



令和6年4月1日付けで、医学部臨床遺伝学科教授を拝命いたしました。私は、平成5年三重大学医学部を卒業後、国立病院機構名古屋医療センターで3年間の研修を行いました。名古屋市立大学大学院医学研究科では、子宮内膜症の病態について研究し、診療は大学病院で、産科婦人科の外来、病棟業務、手術を多く経験させて頂きました。その後、バイラー医科大学病理学に2年間在籍し、テキサスでは、卵巣特異的遺伝子のクローニングと機能解析の傍ら、大学附属病院で内視鏡手術や帝王切開の見学、症例カンファレンスや研修会への参加をしていました。

帰国後、胎児診断、周産期診療、分娩立ち合いや帝王切開の毎日を過ごし、臨床遺伝学や遺伝カウンセリングに関わっていたところ、国内でNIPT（母体血を用いた胎児染色体検査）が始まり、2013年より11年間に1万件以上の実績を上げることができ、この度、縁があって、岩手医科大学へ赴任することになりました

ので、どうぞよろしくお願い致します。

岩手医科大学附属内丸メディカルセンター臨床遺伝科には、県内外地域から、妊婦様をはじめ、先天性疾患、遺伝性疾患・腫瘍、がん関連、耳鼻科疾患などさまざまな疾患を持つ患者様ご紹介され受診されます。臨床遺伝学科はスタッフ、大学院生共々、情報や意思共有のしやすい教室です。当科では、診療、学術活動、人材育成・強化を含めてこれから学科内で検討すべきことがあります。

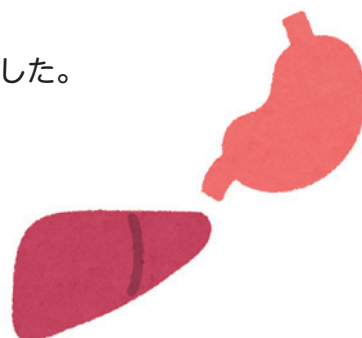
長い歴史をもつ本学・附属病院へ勤務し、城下町盛岡に住むことになってこれまでと全く違った環境での新しい生活となり、新しい眼で新しいこれからを見て、日々最大限の努力をいたす所存でございます。1人でも多くの患者様、妊婦様をご紹介頂き、安心・安全な遺伝診療をお届けできるよう尽力致します。皆様方からより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

診療科を統合しました

令和6年4月より消化管内科と肝臓内科が統合し、消化器内科となりました。

消化器の領域に関してさらに良質な医療の提供を目指してまいります。

予約方法に変更はございません。従来通り紹介予約センターからのご予約をお願いいたします。



♪ 附属病院スプリングコンサートを開催しました ♪

5月25日（土）フードコート内において、附属病院スプリングコンサートを開催いたしました。このコンサートは、入院中の患者さんへの励ましと癒しを提供することを目的として、春と冬の年2回開催していましたが、近年はコロナ禍で開催できず、今回は4年ぶりの開催となりました。岩手県民オーケストラにより『フィガロの結婚』序曲等、7曲の演奏が披露され、美しいメロディに酔いしれるひと時となりました。



緩和ケア病棟の有料個室料金を変更いたしました

令和6年7月1日より、緩和ケア病棟の完全有料個室の料金を下記のとおり変更いたしました。

○特床 A（東 B1023）

【変更前】 25,300 円（税込） → 【変更後】 **9,900 円（税込）**

○特床 B（東 B1021,1022）

【変更前】 22,000 円（税込） → 【変更後】 **9,900 円（税込）**



⚠ 受診先間違いが増えております ⚠

附属病院（矢巾町）と内丸メディカルセンター（盛岡市）を間違えて来院される方がいらっしやいます。予約票を返信する際には患者さんに受診先の地図をお送りしておりますが、あわせて受診先が附属病院（矢巾町）と内丸メディカルセンター（盛岡市）のどちらを受診するのか、大変お手数ですがご説明いただきますようお願い申し上げます。

また、内丸メディカルセンター、歯科医療センターは一部診療科をのぞき、ご予約がなくても診察を受け付けておりますが、患者さんに紹介状をお渡しする際、受診先は盛岡市となりますことをご説明いただけますと幸いです。

